



会長就任の「あいさつ」

井原地区社会福祉協議会
会長 末田 良陽

この度、中川康信前会長の後任として井原社協会長に就任しました末田良陽です。若輩ではありますが、井原地区の社会福祉の向上のために努力する覚悟でありますのでよろしくお願い致します。

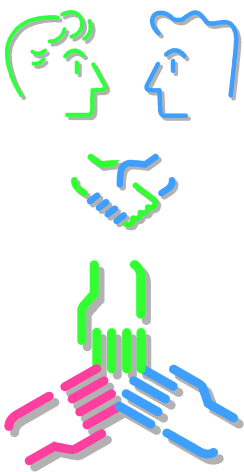
これまで約十二年間社協の会長として井原の町づくりのためにご尽力された中川前会長に敬意を表すると共に心より感謝申し上げます。

さて皆様よくご存じのように、日本の社会は少子高齢化が急速に進み、六十五歳以上の高齢者が占める割合（高齢化率）が、井原では既に四十七％を超え、数年後には五十％に達すると見られ、まさに限界集落（集落としての機能が果たせない集落）といわれる集落が生まれるのではないかと心配されます。こういう現状の中で私たちが、安全かつ安心して暮らすには、行政や各種関係機関や団体が地域と連携してコミュニケーションづくりに取り組むことが重要であることは言うまでもありませんが、一方で私たちが住民自身が、日頃からまず隣・近所が連携を密にし、いざという時にお互いに助け合うという強い絆で結ばれた人間関係を築いておくことが何よりも大切なことではないでしょうか。

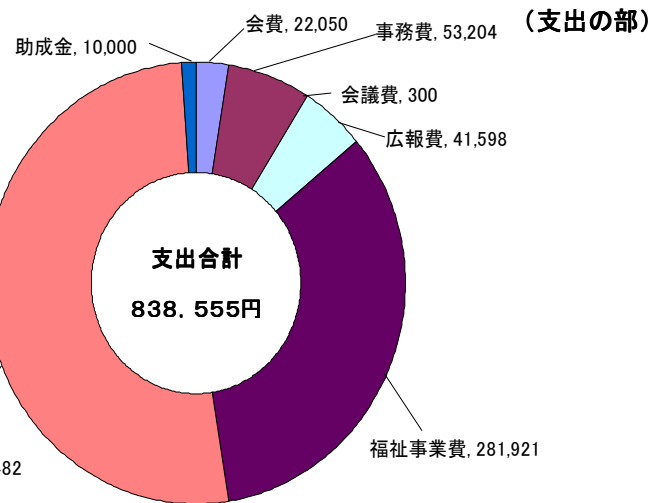
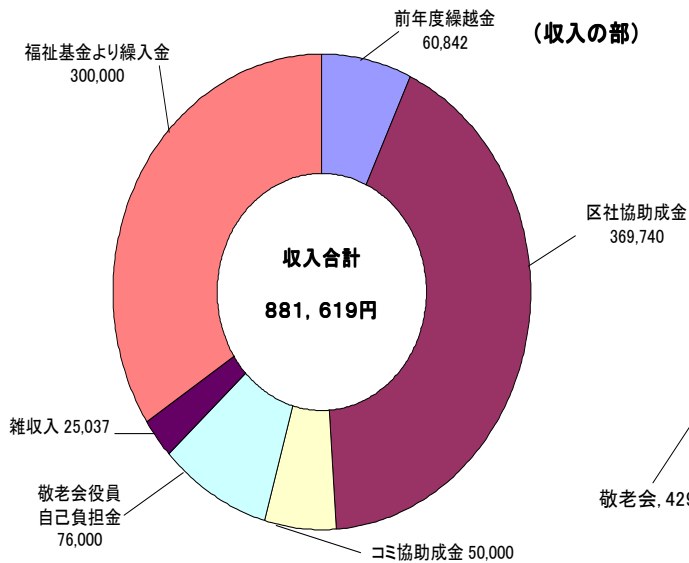
今後井原社協としても、身近な人々の人間関係を大切にすると共に、これまで取り組んでこられた事業や行事を検証しながら、井原の町をより安全・安心で住み良い町にするために何ができるか、また何をしなければいけないかということをしつかりと議論し、関係団体と連携しながら福祉の町づくりに取り組みたいと考えています。

その第一歩として、今年度と来年度の二カ年かけて、広島市が進めている「福祉のまちづくりプランの策定」に取りかかりたいと考えています。そのプランの策定にあたっては、住民の皆さんのご意見・ご希望を聴くことは勿論、関係団体と連携しながら進めたいと思っていますのでご協力をよろしくお願いします。

末尾になりましたが、この度の東日本大震災からの一日も早い復興と皆様方のご健康とご多幸を祈念して、会長就任のあいさつとさせていただきます。



平成 22 年度 事業及び収支決算



事業報告(要約)

安佐北区社協5カ年計画(平成20年度～24年度)のストーリーガン《あなたとつくる・みんなでつくる・ささえあいのまち》づくりを、皆様のご協力によりほぼ計画通り進めることが出来ました。

実施事業

1 近隣ミニネットワークの充実

- ・ブロック別懇談会の実施。各自治会での援助・見守り活動の点検

2 一人暮らし高齢者や障害者、母子会等のふれあいの場づくり

3 敬老祝賀会の実施

4 福祉研修会(福祉を語る会)の開催

5 児童福祉へのとりくみ

- ・ 小学校児童から敬老対象者へ「お祝いと見舞い」のはがきを送り交流を図る。

- ・ 子ども会への活動支援、ふれあい夏祭りへの支援

6 広報活動